

地域医療連携だより

下肢静脈瘤外来 やっています!!

Check



- むくみがツライ
- よくつる(こむら返り)
- だるくて重い

こんな症状を患者さんが訴えた場合、**患者さんの足の診察**をお願いします。



4種類のうちで外科的治療が必要になるのは、**伏在型静脈瘤**です。

他の3種類は軽症であまり心配のない静脈瘤です。

▼外科的治療が必要かもしれない「伏在型静脈瘤」

伏在型静脈瘤は、表在静脈で最も太い伏在静脈の弁不全によっておこる静脈瘤です。大伏在静脈瘤と小伏在静脈瘤の2種類があります。ポコポコと大きい静脈瘤が目立ったり、足のだるさやむくみなどの症状が起こり、重症化して外科的な治療が必要になることがあります。

大伏在静脈瘤は最も多いタイプで、足のつけ根の静脈弁が壊れておこり、膝の内側に静脈瘤が目立ちます。

小伏在静脈瘤は比較的少なく、膝の後ろ側の静脈弁が壊れておこり、ふくらはぎに静脈瘤が目立ちます。

当院血管外科の**下肢静脈瘤外来**へご紹介ください。

下肢静脈瘤の症状	下肢静脈瘤以外の症状
足の血管が浮き出て見える	足が冷える・冷たい
ふくらはぎがだるい・重苦感	階段の昇り降りが辛い
足のむくみ	正座ができない
足のコむら返り(つり)	歩くとふくらはぎがだるくなる
足のむずむず感・不快感	足がしびれる
足のかゆみ	足の裏が砂利を踏んでいるよう
足の色素沈着	冬になると足がかゆい
足の潰瘍	

当院で行う下肢静脈瘤の治療法について

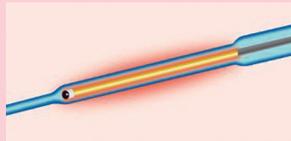
■カテーテルで血管を内側から焼いてふさぐ

▶血管内焼灼治療

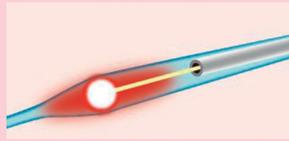
下肢静脈瘤の治療法(保険適用)の一つです。治療する静脈の中にレーザー光を導くための光ファイバーを通し、血管内に照射するレーザーの熱によって静脈を焼いて塞ぐ方法です。

この治療法の最も良い点は、「身体に優しい」という点。従来のストリッピング手術では足の付け根と膝の2カ所を切開しなければならないのに対し、レーザー治療では1カ所に細い針を刺す方法、もしくは数ミリの切開で治療することが可能です。そのため手術部位には傷跡がほとんど残りません。

また、治療時間も片足約60分程度です。術後の痛みや出血も少なく、麻酔方法により異なりますが手術直後から歩けることができるため、日帰りや一泊入院での手術が可能です。※一時的な痛み・つっぱり感・皮下出血等が起こる場合があります。



●高周波治療



●レーザー治療



重症化すると発疹や脂肪皮膚硬化症などの「うっ滞性皮膚炎」を合併したり、さらに悪化すると「潰瘍」になってしまいますので、早めの専門外来受診をお勧めします。

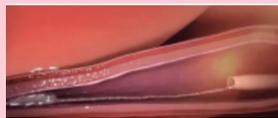
■医療用接着材(グルー)で血管を塞栓する

▶グルー治療

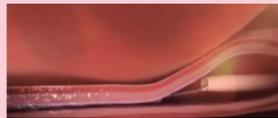
グルー治療は、2019年12月に保険適用になった新しい治療法(当院でも2022年4月から治療開始)で、下肢静脈専用に開発された医療用接着材(グルー)を、カテーテルで治療する血管内に注入して血管を閉塞します。熱によって血管をふさぐ血管内焼灼術と比べて、熱を伴わないグルー治療は、やけどや神経障害など周辺組織への影響や痛みが少ないといった点が大きな特長です。

ただし、グルーを血管内に注入しますので、アレルギーなどをお持ちの方は治療を受けられない場合があります。

いずれの治療も片足約1時間程度です。術後の痛みや出血も少なく、手術直後から歩行可能なため、日帰りや1泊入院での治療が可能です。



①血管内に医療用接着剤を注入する



②血管を圧迫し閉塞する



③絆創膏で止血する

行田クリニック A 館 1F

血管外科	月	火	水	木	金	土
午前			梅田	手術	梅田	梅田
午後		梅田		手術		

当院血管外科の **下肢静脈瘤外来** へご紹介ください。

地域医療連携室 ▶ TEL.048-564-2537